



子どもたちを包み込みはぐくむ環境づくり

## 丹後はぐくみネットワークキング通信

京都府丹後教育局  
のホームページも  
御覧ください

丹後教育局 社会教育広報紙 第6号 (通算 33号)

平成 26年 3月 20日

TEL 0772-22-2175

FAX 0772-22-0479

HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-k/cms/>

# いのちを考える教室が 開催されました!

平成 25年 6月 2日(日)に丹後 PTA 指導者研修会において行った『いのちを考える教室』が反響を呼び、その後、管内の2つの中学校で同教室が開催されました。

講演は犯罪被害者の遺族が自らの体験を語ることとおし、命の大切さを訴えるというもので、聴講した生徒も P T A 会員も、それぞれ自分のこととして考えることができました。

### < 取り組まれた学校の感想 >

#### 《京丹後市立橋中学校》

平成 25年 10月 29日(火)、全校生徒と P T A 会員がともに「いのちを考える教室」に参加しました。講演をとおして生徒たちは「生かされたいのちを無駄にしないように、いのちが無くなることを他人事のようにしない。」「家族という時間を大切にしておきたい。」という思いを抱きました。



#### 《京丹後市立峰山中学校》

平成 25年 12月 5日(木)は P T A 教育講演会で、6日(金)は生徒向け講演会でそれぞれ「いのちを考える教室」を開催しました。京都府犯罪被害者支援コーディネーターの講演をとおし、命の大切さと被害者家族の悲しみの深さについて考えることができました。



(橋中学校、峰山中学校では後述する『生命(いのち)のメッセージ展』も開催されました。)

## 生命(いのち)のメッセージ展が開催されました

メッセージ展は、事故や事件で命を落とされた方々の等身大の人型(メッセンジャー)が、御本人の顔写真や生前履いていた靴とともに展示され、体験者に命の大切さを訴えるというものです。どの会場でもメッセンジャーの無言の訴えをとおし、子どもも大人も、一人一人が命の大切さについて考えました。

### < 取り組まれた学校の感想 >

#### 《京丹後市立網野北小学校》

平成 26年 2月 9日から 11日までの3日間に渡って実施しました。子どもたちは担任の先生の指導を受けた後、メッセージ展を見学しました。どの児童も真剣な面持ちで、一つ一つ丁寧に見学していました。また地域の方も多数見学され、当たり前のことと思っていた命が、一瞬で奪われる悲しさを感じておられました。

